

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成26年10月16日 (2014.10.16)

【公開番号】特開2014-140698(P2014-140698A)  
【公開日】平成26年8月7日 (2014.8.7)  
【年通号数】公開・登録公報2014-042  
【出願番号】特願2013-270742(P2013-270742)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月28日 (2014.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者が視認可能な位置で動作する演出装置と表示装置と該表示装置を装飾する装飾部材とを備えた遊技機であって、

前記演出装置は、前記装飾部材に設けられ、

該演出装置の基体と、

所定箇所を回動中心として回動することにより前記基体における第 1 位置から第 2 位置までの領域である回動移動領域を移動可能であるとともに、前記基体における前記第 2 位置から第 3 位置までの領域である出退移動領域を移動可能な可動物と、

該可動物を前記第 2 位置から前記第 3 位置に移動させるための駆動手段と、を含み、前記駆動手段は、

駆動源と、

該駆動源の駆動力により所定の揺動軸を中心として揺動する揺動アーム部材と、

該揺動アーム部材の揺動によって前記可動物が前記第 2 位置から前記第 3 位置に移動するように、前記揺動アーム部材と前記可動物とを連動連結する連動連結部と、を含み、前記演出装置は、さらに、

前記可動物が前記第 2 位置から前記第 3 位置に移動する間における該可動物の回動を規制する規制手段を含むことを特徴とする、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

( 1 ) 遊技者が視認可能な位置で動作する演出装置と表示装置と該表示装置を装飾する装飾部材とを備えた遊技機（たとえば、パチンコ機 2 ）であって、

前記演出装置は、前記装飾部材に設けられ、

該演出装置の基体（たとえば、基体 4 8 ）と、

所定箇所を回動中心（たとえば、嵌合孔 5 3 により形成される回動中心）として回動することにより前記基体における第 1 位置から第 2 位置まで（たとえば、図 5 ( b ) の原

点位置から図 6 ( b ) の垂直位置まで) の領域である回動移動領域を移動可能であるとともに、前記基体における前記第 2 位置から第 3 位置まで(たとえば、図 6 ( b ) の垂直位置から図 7 ( b ) の進出位置まで) の領域である出退移動領域を移動可能な可動物(たとえば、第 1 演出用可動物 6 2、6 2 a)と、

該可動物を前記第 2 位置から前記第 3 位置に移動させるための駆動手段(たとえば、移動モータ 1 2、落下モータ 1 6、揺動アーム 7 8、第 2 長孔 9 9、嵌合摺動体 6 8 c)と、を含み、

前記駆動手段は、

駆動源(たとえば、移動モータ 1 2 と落下モータ 1 6)と、

該駆動源の駆動力により所定の揺動軸を中心として揺動する揺動アーム部材(たとえば、揺動アーム 7 8)と、

該揺動アーム部材の揺動によって前記可動物が前記第 2 位置から前記第 3 位置に移動するように、前記揺動アーム部材と前記可動物とを連動連結する連動連結部(第 2 長孔 9 9 と嵌合摺動体 6 8 c)と、を含み、

前記演出装置は、さらに、

前記可動物が前記第 2 位置から前記第 3 位置に移動する間における該可動物の回動を規制する規制手段(たとえば、摺動凸部 6 4 c が垂直溝部 6 7 を摺動しているときに、摺動凸部 6 4 c の嵌合孔 5 3 を回動中心とした回動を阻止して第 1 演出用可動物 6 2、6 2 a の回動を規制する、垂直溝部 6 7 と摺動凸部 6 4 c、および、嵌合摺動溝 1 0 4 が形成された上下摺動体 1 0 6 とそれを垂直方向にガイドする嵌合摺動突条 1 0 5)を含むことを特徴とする。